

《担当者名》 教授/齊藤 正人 msaitoh@ 教授/安彦 善裕 yoshi-ab@ 教授/照光 真 terumitsu@
 講師/吉本 裕代 koseki@ 講師/倉重 圭史 kura@ 助教/榊原さや夏 sayanatu@
 非常勤講師 / 関口 五郎

【概要】

本科目は、心身障害者の定義、歯科的問題のほか、各論としては各種の心身障害とその特徴、歯科的問題、歯科的対応について学習する。

【学修目標】

- 障害の概念を説明する。
- 障害と歯科医療と関わりを説明する。
- 各種の障害の実態を踏まえた歯科的特徴を説明する。
- 障害者における歯科治療の実際について説明する。
- 障害者における口腔疾患の予防と管理について説明する。
- 障害者における行動調整法について説明する。
- 障害者における外来（日帰り）全身麻酔や精神鎮静法の適応を説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	障害者歯科総論 歯科医療におけるスペシャルニーズ	歯科医療におけるスペシャルニーズについて説明できる。(E-5-2)-) 障害のある人のクオリティ・オブ・ライフとノーマライゼーションについて説明できる。(E-5-2)-) 障害のある人の社会的および心理的問題について説明できる。(E-5-2)-) スペシャルニーズとリハビリテーションについて説明できる。(E-5-2)-)	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
2	障害者歯科総論 スペシャルニーズと社会保障	障害のある人の医療、福祉の仕組みについて説明できる。 地域における障害者歯科について説明できる。 障害者歯科とチーム医療の役割および関連職種について説明できる。 地域の現状および障害者歯科と福祉の連携について説明できる。	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
3 { 4	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応(各論1) 1. 精神発達・心理的発達と行動障害 知的発達障害 自閉スペクトラム症 注意欠如・多動症 限局性学習症	知的発達障害の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,) 自閉スペクトラム症の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,) 注意欠如・多動症の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,) 限局性学習症の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏 関口 吾郎
5 { 6	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応(各論2) 1. 神経・運動障害 運動障害の概要 脳性麻痺 重症心身障害児・者 筋ジストロフィー てんかん	運動障害の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,) 脳性麻痺の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,) 重症心身障害児・者の概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,) 筋ジストロフィーの概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,) てんかんの概要と特徴について説明できる。(E-4-4)- ,)	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
7	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論3） 1. 感覚障害 視覚障害 聴覚障害 平衡障害 味覚障害 心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論4） 1. 音声言語障害	感覚障害の概要と歯科的特徴について説明できる。（E-4-4）- ） 音声言語障害の概要と歯科的特徴について説明できる。（E-4-4）- ）	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
8	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論5） 1. 摂食嚥下障害 歯科が行うリハビリテーション 摂食嚥下障害と歯科医療 発達期の摂食嚥下障害 中途（成人期以降）の摂食嚥下障害 咀嚼機能の障害 日常生活における誤飲、窒息の予防	摂食嚥下障害の概要と歯科的特徴について説明できる。（E-4-4）- ）	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
9	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論6） 1. 精神障害とその分類 統合失調症 双極性障害とうつ病 不安障害と強迫症 心身症 認知症 摂食障害	精神障害とその分類の概要と歯科的特徴について説明できる。（E-4-4）- ）	安彦 善裕
10	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論7） 1. 歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群 内科的疾患（先天性心疾患） 症候群 難 病	歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群の診察、評価、診断を説明できる。（E-4-4）- ）	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
11	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論8） 1. 行動調整 コミュニケーション法 行動療法 薬物的行動調整 物理的な体動の調整法	心身障害者の行動調整心身症患者について説明できる。（E-4-4）- ）	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
12	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論9） 1. スペシャルニーズのある人の健康支援 口腔ケア 予防法	スペシャルニーズのある人の健康支援について説明できる。（E-4-4）- ）	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
13	障害者歯科における全身管理と行動調整	障害者の中で身体障害又は精神発達遅滞・精神障害・認知症・脳性マヒ、そして嘔吐反射が強いと、歯科治療に際し開口及び一定体位を維持できない。患者と患者保護者や関係者が安心・納得する、安全で質の高い愛護的な歯科医療を提供するために、本講義では障害者に対する全身麻酔法や麻酔科診療を学ぶ。行動抑制は吐瀉・窒息をひきおこすこともあり非愛護的であり	照光 真

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		患者の精神衛生上もよくない。患者の身体障害の程度、逃避行動や号泣の程度を見極めて、麻酔薬剤を用いた行動調整法である全身麻酔法・鎮静法の適応を学ぶ。 (F-1-3)-(4)- 、F-1-3)-(2)-)	
14	外来全身麻酔法を適応した障害者歯科における患者管理	障がい者歯科における外来（日帰り）全身麻酔法下の周術期管理を学ぶ。すなわち、適応症の見極め、術前診査・検査、麻酔前投薬などの術前指示、全身麻酔方法（麻酔導入方法・気道及び呼吸管理・麻酔維持方法など）、術後鎮痛、そして麻酔薬の副作用に対する対処方法や注意点を学ぶ。なお、本講義では、障害者歯科患者リスクマネジメントについても考える。 (F-1-3)-(4)- 、F-1-3)-(1)- 、F-1-3)-(1)-)	吉本 裕代
15	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応（各論10） 1. スペシャルニーズのある人の歯科治療 医療面接 歯髄処置 歯冠修復 補綴的対応 顎顔面領域の外傷 歯列不正、先天異常への対応	スペシャルニーズのある人の歯科治療について説明できる。(E-4-4)-)	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（100％）

【教科書】

「スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科」医歯薬出版
「スタンダード全身管理・歯科麻酔学」学建書院
「歯科麻酔学」第8版（医歯薬出版）
その都度講義プリントを配布する。

【学修の準備】

指定された教科書の当該部分を事前に読んでおくこと。（60分）

【【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】】

DP1.ここから記載人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を修得する（専門的実践能力）。
DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。
DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につける（自己研鑽力）。
DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践する（多職種が連携するチーム医療）。
DP5.歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につける（社会的貢献）。

【実務経験】

齊藤 正人（歯科医師）、安彦 善裕（歯科医師）、照光 真（歯科医師）、吉本 裕代（歯科医師）、倉重 圭史（歯科医師）、榊原 さや夏（歯科医師）、関口 五郎（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

障害者歯科学とは、障害者がかかっている環境を理解し、障害者医療における社会的ニーズを踏まえ、地域社会および国際社会に貢献する科目である。多くの実務経験を背景とした経験談や症例を提示することで、優れた教育効果が期待できる内容となっている。